

# What's going on? 2009年5月

日時	発言者	内容	市場への影響
5/4	バーナンキFRB議長	住宅市場について「底入れの兆候がいくつか出ている。」とし、景気については「今年遅くに上向くと期待し続けている。」と発言。(議会での証言で)	ややドル高に。
5/6	ガイトナー財務長官	「審査結果はすべてを考慮すると、安心感を与えるものになると思う。」 「19行の中で支払不能リスクのある銀行はない。」と発言。(PBS放送のインタビュー番組で)	-----
5/7	ガイトナー財務長官	「金融機関は追加資本を民間から調達することに合理的な自身を持っているようだ。」 ストレステストの結果発表後の記者会見で。	-----
5/8	ラッカー、リッチモンド連銀総裁	「住宅や個人消費の安定が続けば、年末までに経済成長はプラスになる。」講演で	-----
5/11	ヘンダーソンGMCEO	「破産申請の確立が従来の想定に比べ高まった。」同社の電話会議の中で。	-----
5/12	グリーンズパンFRB前議長	「米住宅市場は回復に向かう寸前である可能性があり、金融市場の改善の持続が極めて容易に見て取れる。」 「企業が相次ぎ資本を調達しており、調達額は予定額をはるかに上回っている。」 ワシントンでの全米不動産業者協会で講演。	-----
5/13	ガイトナー財務長官	「金融システムの調整のかなりの部分を終えた。」講演で。	-----
5/14	ヘンダーソンCEO(GM)	破産法適用の申請は現時点で「蓋然(がいぜん)性が高い。」と、これまでの発言から 一歩踏み込んだ認識を示した。(ブルームバーグとのインタビューで)	-----
5/18	杉本財務事務次官	「相場の過度の変動は経済金融の安定に対して悪影響を及ぼし、好ましくない。」と会見で発言。	ドル円95円前半 →96円台に。 円全面安に。
5/19	スターン、ミネアポリス連銀総裁	「信用市場は過去数カ月間に全般に改善した。」「景気後退はあと数カ月続く可能性は高いが、 来年中ごろまでに健全な成長に戻る。」ミネソタ州での講演で。	-----
5/20	ガイトナー財務長官	「金融システムが落ち着き始めている兆候がある。」「良い兆候はあるが、金融機能の修復には時間がかかる。」 と上院で証言。	-----
5/22	与謝野財務金融経済財政担当大臣	「現時点で為替介入することは考えていない。」と表明。	94円台前半での動きから、 一時93円85銭までドル安円高に。
5/25	ウェーバー独連銀総裁	「いくらか改善はみられるものの、危機終了を宣言するにはまだ早い。」フィンランドのテレビ局とのインタビューで。	-----